



イワレンゲ	<i>Orostachys malacophylla</i> (Pall.) Fisch. var. <i>iwarenge</i> (Makino) H.Ohba	絶滅危惧Ⅰ類	
(環境省:絶滅危惧Ⅱ類)		ベンケイソウ科	
選定理由	花が美しく、園芸目的に特に珍重され、採取されることがあるため厳重な保護を要する。	写真(岐阜県博物館) 標本 	
形態の特徴	葉を密生し直径10cmほどになるロゼットをつくる。ロゼット葉は多肉で倒披針形、鈍頭～円頭、花茎は高さ10-20cm。花弁は白色、裂開直前の葯は黄色。地上部は全体に帯粉して白緑色になる。		
生態的特徴	ベンケイソウ科の多年草。岩上や屋根の上に生える。花期は10-11月。多年草だが開花した個体は枯死する一稔性植物。		
分布状況	日本固有種で、関東地方から九州に分布する。岐阜県では、県中部の1ヶ所に見られる。		
減少要因	園芸植物として古くから珍重されてきたため、採取され減少している。		
保全対策	詳細な分布情報を公表するには配慮が必要である。環境の維持などの保全。		
特記事項			
参考文献	原色日本植物図鑑・草本編Ⅱ 保育社 1961 日本の野生植物草本Ⅱ 離弁花類 平凡社 1982 長野県版レッドデータブック 維管束植物編 長野県自然公園協会 2002 長野県植物誌 信濃毎日新聞社 1997		

文責:福岡義洋